

第三者評価結果（障害者・児福祉サービス版）

※すべての評価細目（19項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
A①	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>平成30年度事業計画において意思決定支援に基づく個別支援の充実を掲げている。</p> <p>多くの利用者の主体的な活動の1つとして、月1回「移動販売」を実施し、飲食物を豊富な種類の中から自分で選択し購入する機会を設けている。衣類や靴等はゆっくりと楽しみながら選んでもらえるよう大きな鏡や試着できるスペースを設けるなどの配慮も行っている。</p> <p>職員は利用者の身体的な状態を考慮しながら、支払いのできる利用者には自分で支払ってもらうなど利用者の意向を尊重しながら、意思決定を促す支援を行っている。</p>		

		第三者評価結果
A-1-(2) 権利侵害の防止等		
A②	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組を徹底している。	Ⓐ・c
<p><コメント></p> <p>身体拘束解除に向けた検討会は各棟ごとに随時実施され、虐待防止と身体拘束ゼロに向けた内部研修を年2回開催している。また、権利擁護及び職場環境等に関する調査（アンケート）を行うなど、施設全体で権利侵害の防止に取り組んでいる。</p> <p>利用者と職員により選出された男女2名の職員が「虐待防止委員」となり、名前と顔写真を各棟に掲示するとともに年2回、利用者からの聞き取り調査を行うなど、権利侵害への迅速な対応に向けた体制を整備している。</p> <p>権利擁護に関する「気づきレポート」を設け、職員が気づいたときに直ぐ記入できるよう付箋の活用等を促し、気づきを大切にしている工夫をしている。</p>		

A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
A③	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p>		

<p>個別支援計画に基づき利用者一人ひとりの心身状態や生活状況を把握し利用者や家族の了解のもと支援を行っている。状態変化時には棟内会議やモニタリング会議で個別支援計画の見直しを行い、支援内容を検討している。</p> <p>また、利用者、職員間で過剰な支援が自立の妨げにならないよう担当者を定期的に変更し、統一した支援ができるよう配慮している。</p> <p>自律・自立生活の動機付けのため、様々な経験や体験が必要と考え外食、買い物以外にも地域イベントや文化祭、音楽鑑賞等の情報を掲示したり、外出が難しい利用者へは、施設行事でコーラスを受け入れる等利用者の状況に応じた支援を行っている。</p>		
A④	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者が話しやすいよう興味関心事や得意なことを話題にしたり、絵や写真を用いて注意喚起を促すなどコミュニケーションが多く持てるよう支援を行っている。また、その人に合ったコミュニケーションを取れるよう、時間をおく、職員を代える、適度な距離感を保つなど、職員間で連携しながら適切な意思の把握に努めている。</p> <p>コミュニケーションが十分でない利用者には、家族から情報を得たり表情や全身の動きから思いをくみ取れるよう努めている。</p>		
A⑤	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員は、日常の支援の中での情報収集の他、利用者懇談会や茶話会、各委員（虐待・権利擁護・食事提供）による聞き取りなど利用者が意志表出しやすいよう接することを心がけ、思いや希望を把握するよう取組みを行っている。</p> <p>個別支援計画は、担当職員とサービス管理責任者、管理栄養士、看護師で協議し、事前に把握した内容を反映し作成しており、職員会議等で報告・共有している。</p> <p>意思決定支援に係る職員の資質向上を目的に、外部研修への参加や内部研修を開催している。また、「意思決定の実例集」を全職員へ配布し、支援の再確認等に活用するなど意思決定支援に積極的に取り組んでいる。</p>		
A⑥	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>日中活動の場である作業班により居室内の装飾品を作成し、玄関、居室、食堂等へ季節に応じた飾りつけを行い利用者や家族から好評を得ている。作業開始のアナウンスは利用者自らが行うなど、主体的に取り組んでもらえるよう側面的支援を行っている。</p> <p>各棟内では、音楽に合わせリズム体操を行うなど利用者の状況に応じた活動やプログラムを提供している。</p> <p>また、利用者の希望に基づき施設外の就労継続支援B型事業所を活用するなど利用者に応じた支援を行っている。</p>		
A⑦	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a・b・c

<p><コメント></p> <p>施設研修計画や法人本部職員研修基本方針に基づき、障がいの専門性への理解と支援技術の向上を図るため、専門的な研修等への積極的な参加を促している。</p> <p>各担当職員は「お客様留意点」「リスクに係る個別アセスメントシート」「転倒リスクチェックシート」「誤嚥・窒息アセスメント」に利用者の障がい特性をまとめ、各棟内会議で共有している。9月、3月の定期的な見直しの他状態変化があれば、随時施設長を始め多職種間で見直し、支援方法の検討を行っている。</p> <p>また、年齢や職種間の枠を飛び越えて日々意見交換が行われており、熟練職員が新人職員から学び取る姿勢が聞き取りから確認できた。</p>	
--	--

		第三者評価結果
A-2-(2) 日常的生活支援		
A⑧	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的生活支援を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>「あ～友こ～友会」で要望のあった献立を誕生会や行事食、バイキングに反映し、食事をおいしく楽しく食べられるよう音楽をかけるなど、雰囲気づくりにも力を入れている。また、選択食メニューは写真で提示して選びやすくするなど工夫している。</p> <p>利用者の口腔や嚥下状態等心身の状況に応じ、3か月毎に栄養ケアアセスメントを行い個別対応を行っている。</p> <p>浴室は現状の利用者に応じた設備とはいえないながらも、個別の状態に応じてリクライニング式シャワーチェアなど福祉用具を活用し、快適に入浴ができるよう努めている。</p>		

		第三者評価結果
A-2-(3) 生活環境		
A⑨	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境を確保している。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者の高齢化や車いす使用者の増加に伴い、転倒や骨折防止のため床をクッションフロアに張り替えるなど利用者の安全面に配慮した取組みを行っている。また、避難経路確保に向けスロープを導入するなど安心安全へ向けた取組みを計画的に行っている。</p> <p>その他にも、棟ごとに利用者との協力し内装を木目調に変更したり、利用者の意向から畳部屋を設けるなど、気持ちよく快適に過ごせるような支援を行っている。</p>		

		第三者評価結果
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
A⑩	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>個別支援計画に基づき、身体機能の維持を図る取組みとして利用者が興味を持てる活動内</p>		

容（キャッチボール、ゴムボール、フリスビー、散歩等）を提供し、日中活動の中で主体的に取り組むことができるよう支援を行っている。

また、能力に応じて銀行の窓口で現金の払戻を行い、予算内で欲しいものを買うなど、日常生活体験の機会を通した自立支援を行っている。

訓練の際は、医師や看護師・理学療法士等に加え、福祉用具専門相談員からも定期的に指導・助言を受けて、本人に合ったポジショニングの確認を行うなど生活しやすくするための工夫をしている。

		第三者評価結果
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
A11	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>健康状態の把握については、利用者の表情や言動などわずかな変化も見逃さないよう心がけ、変化があった場合には看護日誌に記載し、毎朝のミーティングでも共有している。</p> <p>緊急時の対応については、各棟に配布されたマニュアルに基づき適切に対応している。夜間対応は看護師へ連絡し、状態や必要に応じて太陽の国病院を受診する等、連携体制が整っている。</p> <p>職員は、排便コントロールの重要性から利用者の排便、水分摂取の研究に取り組み、論文作成を行ったことで健康に対する意識向上につながっている。目標を持って支援にあたることは大変重要であり、論文作成を踏まえた実践に取り組むことで職員の資質向上を図り、さらなる利用者満足に繋げてほしい。</p>		
A12	A-2-(5)-② 医療的な支援を適切な手順と安全管理体制のもとに提供している。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>誤薬予防のために、与薬トレーを棟別に色分けし、本人確認ができるようにと薬札には顔写真を付けている。また、服用後の空包は毎食ごとに一袋にまとめておき、後から確認できるようにするなど工夫している。薬の取り扱いについては、看護師とリスクマネジメント委員会が中心となり、職員への「与薬マニュアル遵守に関するアンケート」から問題点を把握し、内部研修で与薬のロールプレイを行うなど適切かつ確実に実施できるよう周知徹底に向けて取り組んでいる。</p> <p>医療的ケアは医師の指示のもと、所定の研修を修了した介護職員が看護師と連携しながら手順にもとづいて適切に胃ろうケアを実施している。</p> <p>日中の症状から経過観察が必要な利用者については、看護師の具体的な指示のもと夜勤者への引継ぎが行われていることが書面及び聞き取りから確認できた。</p>		

		第三者評価結果
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
A13	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	Ⓐ・b・c

<p><コメント></p> <p>利用者の希望や意向から、地域のイベント参加や文化センターの展示会への出品や展示会見学など、社会参加や学習の機会を提供している。また、利用者から要望の多い外食や買い物については、地域に出向いて店の方と顔馴染みになり、外出意欲を高める支援を行っている。</p> <p>外泊希望があっても自宅が遠方だったり、両親が高齢で外泊対応が難しい場合などは家族と相談し、職員と自宅へ外出して家族との交流を図ってもらう「ふるさと訪問」を実施するなど、利用者、家族の意向を尊重した支援を行っている。</p>	
--	--

		第三者評価結果
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
A14	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>地域生活移行については、アセスメント表において利用者の希望や意向を把握し、家族の理解を得るための説明を行い、グループホーム見学、体験利用等を実施している。これまでも地域移行には至らなかったものの、利用者本人の意思を尊重した取組みを行っていることが書面にて確認できた。さらに、交通機関の利用、掃除、洗濯、家電の使用など利用者の課題を個別支援計画に反映し、地域生活に向けた支援を行っている。</p>		

		第三者評価結果
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
A15	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>家族会「あすの会」が組織され、レクリエーション大会や総会、環境整備等年4回家族相互の交流を図っている。</p> <p>生活の様子や支援状況、予定行事等を記載した「家族連絡票」に利用者の写真を添えて毎月郵送し、報告している。また、利用者の家族に電話をかけて利用者とは話す機会を設けるなど、家族との交流が持てる取組みを行っている。</p> <p>更なる要望等の把握を目的に、年2回家族から文書での意見提出を依頼し、対応手順に沿って迅速な対応に努めている。</p>		

A-3 発達支援

【障害児支援（障害児入所支援、障害児通所支援）の評価において適用】

		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
A16	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p>		

※評価外

A-4 就労支援

【就労支援（就労移行支援、就労継続支援 等）の評価において適用】

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
A17	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
〈コメント〉 ※評価外		
A18	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a・b・c
〈コメント〉 ※評価外		
A19	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
〈コメント〉 ※評価外		